

令和8年度確かな学力育成加速化事業費 教員の学習指導力強化に向けた授業実践推進事業  
「授業実践セミナー・研修会（英語）」実施要項

岩手県教育委員会事務局  
学校教育室学力向上担当

## 1 目的

### (1) 授業実践セミナー

学習指導要領を具体化した公開授業や研究協議を通して、英語担当教員の授業改善や授業力強化を図り、生徒の学力向上に資する。また、高等学校の授業実践を通して、異校種間で相互に生徒の実態や指導の在り方などについて理解を深める。

### (2) 授業実践研修会

英語教育実施状況調査や訪問指導等で明らかになった教科指導上の課題（生徒の英語発信力強化に向けての授業づくりや「指導と評価の一体化」の具体策等）に対応するため、外部講師による講義・演習を行い、教員の積極的な授業改善や生徒への学習支援に資する具体的方策について理解を深める。

## 2 実施形態

申込時に選択する。両方を選択することは可能。複数会場申し込むことは可能。

### (1) 参集型

### (2) オンデマンド型（視聴方法等は後日通知する）

## 3 参加対象

### (1) 県立高等学校英語担当教員は各校から1名以上が悉皆で参加とする。

ただし、参集型またはオンデマンド型で1会場以上を選択すること。

（近隣の学校は参集型への参加を推奨する。）

### (2) 県立高等学校英語科以外の教員、県立特別支援学校の教員で参加を希望する者

### (3) 小・中・義務教育学校、盛岡市立高等学校の教員で参加を希望する者

### (4) 私立中学校・高等学校の教員で参加を希望する者

### (5) 「AIを活用したグローバル人材育成のための英語教育強化事業」のモデル校研究担当教員は大船渡高校会場（12月11日（金））について悉皆で参加とする。（同事業の事後研修会を兼ねているため）

## 4 日時・会場・内容

実施日	会場校	公開授業者
	研修会講師	研修会テーマ（予定）
8月25日（火）	岩泉高等学校	教諭 北村 ちひろ
	学校教育室 学力向上担当	指導主事 千葉 慶多
	「雲南省派遣事業に係る実践報告（仮題）」	
11月6日（金）	宮古商工高等学校工業校舎	教諭 千田 恵
	岩手大学人文社会科学部	准教授 三野宮 春子 氏
12月11日（金）	「学習と言語活動を繋ぐフォーカス・オン・フォーム」	
	大船渡高等学校	教諭 鈴木 紗季
	AI活用英語教育強化事業モデル校（予定）	「AI活用事業にかかる活用事例（予定）」

公開授業で扱う単元や内容、当日の日程などの詳細は、参加申込者に対して開催1か月前を目途に別途通知する実施細目で周知する。

## 5 参加申込（会場毎・参加型毎）

### (1) Plantのアカウントを持っている教員の申込方法

（県立学校、盛岡市立高等学校、小・中・義務教育学校に所属する教諭・指導教諭等）

全国教員研修プラットフォーム（Plant）で参加希望者本人が申し込むこと。

研修名：【〇/〇参集型・オンデマンド型】授業実践セミナー・研修会（英語）〇〇高等学校会場

研修コード：igs08 ※コードはすべての会場共通

(2) Plant のアカウントを持っていない教員の申込方法

（県立学校、盛岡市立高等学校、小・中・義務教育学校に所属する講師等、私立中学校・高等学校に所属する教諭等）

下記のフォームより必要事項を送信すること。

申込フォーム URL <https://forms.cloud.microsoft/r/WF8nQ8gFN5>



(3) 申込期限：7月17日（金）

(4) その他

ア 複数会場および参集型とオンデマンド型の両方を選択することも可能。

イ 本申込により県立学校、盛岡市立高等学校教員はMicrosoft Teams「授業実践ネットワーク（英語）」のメンバーにも登録となる。

## 6 実施内容

(1) 公開授業・研究協議

ア 公開授業

生徒や学校、地域の実情に応じた英語的に考える資質・能力を育成するため、担当指導主事とともに検討した「単元や題材など内容や時間のまとまりでの授業づくり」の一例を提案する。

イ 研究協議

公開授業をもとに、英語的に考える資質・能力を育成するための授業づくりや課題解決に向けた協議を行う。また、授業力向上に関わる異校種間連携を推進するため、小学校・中学校・義務教育学校と高等学校との間で相互に生徒の実態について情報交換を行い、英語の指導の在り方を協議する。

ウ 講義（学力向上担当指導主事・各会場共通の内容）

県や国が実施している学力調査の結果や個別訪問を通じて得られた情報を共有し、各校での取り組みに生かす方策を協議する。

(2) 研修会

教育現場が感じている課題に沿ったテーマで外部講師等による講義・演習を行い、教員の授業力強化を図る。

(3) 時程例（※実際の時程は会場毎実施細目で周知する）

ア 午前 研修会

受付	開会 行事	講義と演習（外部講師等） (120分)
----	----------	------------------------

イ 午後 公開授業・研究協議

公開授業 (50分)	休憩	研究協議 (50分)	休憩	講義（担当指導主事） (50分)	閉会
---------------	----	---------------	----	---------------------	----

(4) 本セミナー・研修会実施後の各校における実践推進サポート（対象：県立学校、盛岡市立高等学校）

参加者が各校において情報共有、授業改善等の具体的実践を推進するため、「授業実践ネットワーク」（別紙1）を活用して課題の共有・相談、実践例・教材の共有などを継続的に行う。

## 7 その他

(1) 参加者は原則として各校に整備されている教師用端末または個人の端末を持参すること。持参することができない場合は、以下の方法で連絡すること。

ア Plant から申し込みする場合（県立学校、小・中・義務教育学校の教諭等）

Plant での申込時に申し送り事項欄に端末を持参できない旨記載すること。

イ 申込フォームから申し込みする場合（Plant アカウントが無い講師や私立学校教諭等）

フォーム内の端末の持参に関する項目で可否を入力すること。

(2) (1) で持参できない参加者の端末は、学校教育室で用意する。

(3) 県立高等学校の参加者の旅費は M183 から、県立特別支援学校の参加者の旅費は M281 からそれぞれ支出すること。また、小学校からの参加は M138、中学校からの参加は M168 から支出すること。